

近江神宮

宮司

佐藤 久忠氏

interviewer

頭取 大道 良夫

# 近江神宮

近江神宮の歴史を語る

## 神社に詣でて心を清める風習は 清廉を尊ぶ日本人が育てた伝統文化。

近江神宮は全国に16社しかない勅祭社の一つ。昭和の創建ながら春日大社や出雲大社と同様の格式を持つ。この近江を代表する神域は、大津の街が生まれた起源と深く関わり、いまも滋賀の発展を担っている。



近江神宮 宮司  
佐藤 久忠(さとう・ひさただ)氏

1935年、秋田県生まれ。59年、國學院大學神道専攻科卒業。明治神宮の禰宜(ねぎ)、教学部長を経て、88年、近江神宮宮司に着任。社会福祉法人近江神宮仁愛会理事長、財団法人天智聖徳文教財団理事長、近江時計眼鏡宝飾専門学校校長等を兼務。

### 近江の発展につながった 大津宮ゆかりの神社

大道 ● 新年明けましておめでとうございませう。元日の午前0時、厳かに打ち鳴らされる新年初太鼓の響きの中で年が改まるとともに、大勢の参拝者でいっぱいになる近江神宮の初詣風景。湖国の初春を飾るにふさわしい華やいだ雰囲気にも包まれます。産業・文化・学芸の神様として崇敬を集める近江神宮には、県内企業の方々も初詣して一年間の弥栄を祈念されるとお聞きしています。私たち滋賀県民にとって、近江神宮は格別の存在であり、滋賀全体を見守っておられるように感じています。

佐藤 ■ そうお思いの方が多くおられるのはありがたいことだと感じています。当社は宮中より勅使が来られる県内唯一の勅祭社であることに加え、ご祭神が近江大津宮を造営された天智天皇であることも大きな理由だと思われまふ。大津宮は別名「志賀の都」と歌われています。ように、滋賀県の発展の礎となりました。

大道 ● 飛鳥からの遷都の理由は諸説ありますが、友好関係にあった百済が新羅と唐の連合軍に攻められ、そこに援軍を送ったものの白村江で敗れ、新羅や唐がわが国にも襲来するという危機感と関

連しているようですね。

佐藤 ■ この国難に際して、天智天皇は湖と山に囲まれた要害の地である大津への遷都を決断されたとの説もありまふ。時は667年。琵琶湖の眺望も美しいこの地に大津宮が築かれ、ここで正式にご即位なされました。また、祖国滅亡により渡来した百済の先進文化が高いレベルで開花しました。そんな往時の大津に思いを馳せてみてください。大津の街や滋賀の地への愛着がこれまで以上に深まるはずませう。

大道 ● 滋賀に生まれ育った身として誇らしいのは、古代朝廷による最初の法令とされる近江令がこの地で施行されたことませう。佐藤宮司がお話しされた渡来

人との交流といい、法治国家の基盤整備といい、「国の骨格づくり」がこの大津で始まったことを、私たちはもつと誇りに思っています。こんな歴史認識にこそ、湖国の未来を紡ぐヒントがあるように思えます。

### 滋賀県民の熱い思いが 近江神宮の創建につながる

佐藤 ■ 天智天皇の遷都から近江の発展が始まったという認識は、地域の人々に脈々と受け継がれ、1908(明治41)年の大津市制10周年を機に、滋賀県民の間から大津宮跡に天智天皇を祀る神宮の創建運動が高まり、昭和になつてから近江神宮創建のご勅許を賜

ることになります。当時、当社創建に寄せる国の思いは並々ならぬものがあり、1940(昭和15)年のご鎮座に先立つ構想では、明治神宮に匹敵する広大な境内地を有し、琵琶湖を一望する高台に社殿や楼門を広げる壮大なプランだったようませう。

大道 ● 近江神宮の創建はある種の国家プロジェクトだったわけませう。

佐藤 ■ その後、激動の時代の中で初期構想は遂行されなかつたのですが、建築美への思いを凝らして建造された社は美しく、建築家など専門家の方からは「希に見る名建築」と称賛されています。

大道 ● 神社建築には大社造り、春日造りなどさまざまな様式がありますが、近江神宮の建築はその枠ではなく、独自の様式で、近江造りとも昭和造りとも呼ばれているようませう。近代神社建築の代表作と伺っています。

佐藤 ■ 外拝殿と内拝殿を中庭で隔てて、周囲に回廊を配する空間構成の優美さ。回廊に連なる細めの丸柱等への配慮や、曲線美によって醸し出される繊細な情緒。内外拝殿に設けられた絢爛たる格天井。細やかな美意識が細部にまで凝らされていますので、ご参拝の折にはその美しさもお楽しみいただければと思ひます。



朱色が美しい楼門を背景に





概要

## 近江神宮

■所在地/大津市神宮町1-1

■創建/1940年

■ご祭神/天智天皇

■ご神徳/時の祖神、開運・導きの大神、  
文化・学芸・産業守護

■参拝時間/6:00~18:00

■最寄駅からの所要時間/

・JR「大津駅」から徒歩20分、タクシー3分

・京阪電車「近江神宮前駅」から徒歩9分



## 『ちはやふる』の聖地は 大津の観光まちおこしを担う

大道●境内に多くの句碑や歌碑がた  
たずむ風情にも心が洗われます。私が  
特に好きなのは、柿本人麻呂が詠んだ  
「淡海あふみの海 夕波千鳥ななが鳴けば 情こころもし  
のに古思いにしへほゆ」の歌碑で、この地から望む  
琵琶湖の儂はかなげな夕景が目に浮かんでき  
ます。歌といえば、天智天皇が詠まれた  
「秋の田のかりほの庵いほの苦くるしみをあらみわが  
衣手は露にぬれつつ」の歌が、13世紀初  
めに藤原定家が編んだ「小倉百人一首」  
の第一番に選ばれていることから、近江  
神宮は「歌かるたの聖地」として崇敬を  
集められ、それにちなんだ「競技かるた」  
も盛んに行われています。

佐藤■近江神宮のかるた行事は、1月  
のかるた名人位・クイーン位決定戦、か  
るた開きの儀を執り行う近江神宮かる  
た祭、高松宮記念杯 近江神宮全国競技  
かるた大会に始まり、2月には県のか  
るた大会、3月は小・中学生、7月は全国  
高等学校かるた選手権、8月は全国大  
学かるた選手権大会など、年間を通じ  
てさまざまな大会が催され、境内は若い  
熱気であふれます。

大道●競技かるたを題材にした少女漫画  
『ちはやふる』のブレイクによって、競技か

るたが一躍若い世代の注目を集め、作品の  
舞台として登場する近江神宮がファンに  
とっての「聖地」にもなったことから、観光  
まちおこしの気運が盛り上がっています。

2012年には、びわ湖大津観光協会等  
を中心に「ちはやふる・大津」キャンペーン  
実行委員会が設立され、京阪電車が石山  
坂本線でラッピング電車を走らせるなど、  
熱心な取り組みが続いているそうです。

佐藤■当社で行うかるた競技の参加者  
も3倍くらいに増えています。競技会場  
に充てている境内の会合・宿泊施設、近江  
勸学館だけでは開催できなくなり、小学  
校の体育館など周辺施設をお借りする  
ような状況です。仮設会場用に昼をレン  
タルするのもひと苦労。大勢のかるた  
ファンが「歌かるたの聖地大津で競技し  
たい」と殺到される様子に驚いています。

## 人間を正す「時」は 社会や科学の発展につながる

大道●境内で「ちはやふる」名場面総選  
挙・複製原画展」が催され、ヒロインの袴  
姿コスチュームを貸し出されるなど、  
ブームの中心地にふさわしく大津の観  
光まちおこしに貢献されておられます。  
このブームはまだ続きそうですか。

佐藤■実写版の映画が今春公開されま  
すから、さらに加熱すると思います。昨



天智天皇が設置された水時計にちなんで、毎年「時の記念日」に行われる「漏刻祭」



「歌かるたの聖地」として崇敬を集める

佐藤■佐藤司が校長を務めておられます。  
佐藤■かつて社会の要請にこたえるため、  
時計職人を育てるために時計組合の  
要望で設立しました。いまでは機械時  
計の技術を守る最後の砦とりでになっていま  
す。科学技術といえば、昨年、ノーベル  
賞生理学・医学賞を受賞された大村  
智・北里大学特別荣誉教授が、お弟子  
さんに贈呈された色紙を報道陣に披  
露しているのを見て、心打たれました。  
記されていた言葉は「敬神崇祖」。神を  
敬うやまい、祖先を崇あがめるといふ神道の根幹  
精神です。最先端に挑まれる科学者が  
日本人の継承してきた「心の在り方」  
を踏まえておられると知り、うれしく  
思いました。

大道●自然や宇宙など人知を超えた存  
在への謙虚さ。先人からの恩恵に感謝す  
る素直さ。敬神崇祖の念は、宗教を超え

年、その撮影が当社や県内の宿泊施設、  
学校などで1週間ほど行われて話題に  
なりました。この熱気を滋賀の観光振興  
に役立てていただけよう、当社もでき  
る限り協力したいと思っています。

大道●古代に大津の礎を築かれた天智  
天皇ゆかりの近江神宮が、21世紀の大  
津の振興を担われる。不思議なご縁を  
感じます。私は近江神宮に事務局を置  
く「時を守る会」の会長を務めさせてい  
ただき、時間の大切さを啓蒙する活動  
に取り組んでいます。これも、日本初  
の時計である漏刻ろうこくをお造りになられた  
天智天皇の偉業がご縁です。

佐藤■漏刻は一定速度で流れ落ちる水



時計館の展示用漏刻の前で

て私たちの本能のようなものだと感じ  
ます。ただ、現代を生きる私たちにとつ  
て、神道が説く「清く明るく正しい」理想  
の生き方はなかなか実現できません。

佐藤■日本人は清浄、清廉を尊び、心身  
の不浄を浄化する「禊みそぎぎ」の文化を育て  
ました。「心は形を現し、形は心を規制  
する」と神道は教えます。身を常に清め  
る文化が水に恵まれた国ならではの朝  
の洗顔、夜の入浴の風習であるように、  
神社への参拝は心を清めるための文化  
だといえます。心が清らかであれば、美  
しい言葉ことばしか口から発せず、争いも起き  
ません。皆さまもぜひ、この一年を清ら  
かな正しい心でお過ごしください。

大道●身にしみるお言葉です。2016  
年も当行は清く、明るく、正しく務めて  
まいります。本日はありがとうございます。

を利用した水時計の一種で、当時の役  
人の時間を正すために、671年に天智  
天皇が設置されました。古代国家で最  
も重要なポジションを担った陰陽寮おんやうりやう  
の所轄ですから、正確に時を刻むことが当  
時に重んじられたかが分かります。大  
正期には漏刻ろうこくの設置日である6月10日  
が「時の記念日」に制定されましたが、戦  
後はあまり顧みられなくなり、大津市や  
子午線が通る明石市など、ごく少数で  
すが、その精神を伝え続けています。当  
社では、毎年その日に「漏刻祭」を執り  
行っていますが、昨年は明石市立天文科  
学館で初めて祭事を再現しました。「時  
のまち」としての連携を今後も続けてい  
きたいと考えています。

## 日本人の心に宿る 「敬神崇祖」の教え

大道●深遠なお考えですね。近江神宮  
境内にある「時計館宝物館」ではわが国  
最古の懐中時計や貴重な和時計など  
2300点が収蔵されています。さら  
には、機械時計の技術等を教える「近江  
時計眼鏡宝飾専門学校」を境内に設け、

に広まるといいですね。